



ゲスなクラスメイトに
弱味を握られ

ヤツらは遠慮も容赦もなく
彼女の身体を要求してくる

快感ニ彼氏2

～どんだけ射精(だ)せば気が済むのよっ～

やむ無くて

気持ちまで屈したり
したくないっ！
なのに身体は…

それでも…
意地でも…

エスカレート
するエロ行為

フルカラーCGコミック

“吹き抜ける一陣の風”
それが彼女に抱いたイメージ



当時、図書委員だった自分は
図書室へ向かう道中で
いつも運動グラウンドを眺めていた



運動している生徒は多くいたが
視線は自然と彼女に吸い寄せられる

彼女に興味をもったキツカケは
学内でちょっとした有名人だったからだ

彼女の名前は白北桃香
自分より一学年下の生徒で
大会で優秀な結果を出したことと
その容姿で生徒達の注目を集めていた
とくに男子生徒からの人気は高く
ヤジ馬も多かった

自分もそんな男子生徒の一人で

図書室へ向かう道すがら
ほんのわずかな時間ではあったけど
いつも彼女のことを眺めていた



彼女は周囲の雑音など意に介さない様子で
いつもストイックに練習に励み汗を流していた
トラックを颯爽と駆け抜ける姿は
運動部とは縁のなかった自分にはとても輝いて見えた

初めは興味本位で見ていただけだったが
そんな彼女の姿勢に好感を抱いた自分は
いつしか内心で彼女のことを応援するようになっていた

だから：

そんな彼女を（部活中であるはずの時間に）
図書室の片隅で見かけたときは驚いてしまった

ここに用があつて立ち寄つたようには見えなかった
運動グラウンドで見ていた快活な彼女とは
打って変わった気の抜けた様子がどうにも気にかかり：



思わず疑問が
声になってしまった

な…んで
ここに…

…？

：私が居たら
ヘンですか？

それはひとり言だったけど
彼女の耳に届いたようで
訝し気に返されてしまった
だがこれが彼女と会話する
キッカケとなった

ご、ご免…
そうじゃなくて
陸上部の白北さん…だよな
えっと…その、部活は？

実を言うとその前からグラウンドで
彼女を見かけなくて気にはなっていた
だけどケガが原因で部活を断念
したことを知ったのはこのときだった

彼女はケガをしたことを
機会に部活は早期引退して
受験勉強に専念すると…
まだ少し悔しさを窺わせる
そんな表情で話してくれた



その後、彼女は度々
図書室を訪れていたが
集中できてない様子で：



自分はたぶん
彼女をもっと応援
したかったのだと思う

だから今度は
意識的に声をかけた



：白北さん
よかったら
わかりやすい
参考書があるけど
見てみないかい？



ああ、この
前の先輩
図書委員：
でしたっけ

問題なく大学推薦を得られ
そうで余裕のあった自分は
それから彼女の受験勉強を
手助けをするようになり――



――徐々に勉強に集中しだし快活さも戻ってきた彼女、
スポーツで培ってきた集中力は勉強でも生かされたようで
コツを掴んで集中さえすれば飲み込みも早かった



そして数か月経った頃には彼女の成績は著しく上がり
二人の関係も談笑し合えるくらいになっていた

この頃の彼女は毎日図書室に通っていて勉強が好きに
なったとも言ってくれ、応援が実を結んだように思えた

彼女が自分と同じ大学を志望していたこともあってそれからこの関係は続きより親密となって――



自分の卒業後には男女として付き合うようになった結婚を前提などと言うと大袈裟に思われるかもしれないが真面目な付き合いだ

とはいえ、自分が不器用なのと会える時間が限られることから本格的な付き合いは彼女の卒業を待つてからになると思っている



幸いに努力の成果で彼女も同じ大学の推薦を得ることができた同じ大学に進学がほぼ決まっているのだから何も焦ることはない彼女の卒業後には二人の時間を積み重ねることができらるだろう



—そして現在
自分は大学で
彼女を待っている

学友として彼氏としてその日がとても待ち遠しい…

今彼女は進学に向けて
最後の準備にとりかかっている
あと半年もすればまた彼女と
毎日会うことができるようになる

快感ニ彼氏2

～どんだけ射精(だ)せば気が済むのよっ～



嫌だっつ
こんなとこで

んあ

ん

ん

アンタら
頭オカシイ
わよっ

こんな
ところで
なんてっ

人來たら
どう：う
すんのっ

放課後だし
このトイレは
誰も来ねえよ

ド
ン
ッ

まあそう
言うなって
前からオマエと
学校でやりてえ
と思ってたんだ

気安く
挿入れ
ないでよっ
ヘンタイっ！

んあっ

う！

んっ

ぐっちゅ

ぐっちゅ

ぐっちゅ

入口で竿口も
見張ってるし心配ねえって



おほっ
出た出たっ
おっぱいいい

やっぱ学校だと
いつも以上に
エロく見えんぜっ

ポン

ちよつと
やめてよっ
脱がさなくても
できるでしょっ！

ジュリン

とか言ってる
桃香も興奮
してんだろ
いつもより
汁が溢れてんぜ

！
桃香って
呼ぶなっ！！

ポタッ

よくないわよっハ

えー、やってるときくらい
桃香でいいじゃんか♡

モミ

モミ

モミ

モミ



あうっ

外まで
聞こえてんぜ

おいおい、
あんまデケえ
声出すなよ

イヤ！
イヤ
アンタに名前デ
呼ばれるなんて
絶対イヤっ！
先輩にだ
まだ名前



まったく
意地っ張りだぜ
桃香はっw

.....!!



んあっ♡

いい加減
素直になれってえのっ

ああっ

もう何度も
やってんだしよおっ！

うるさいいーっ

コイツらと初めて関係を
持った日から二週間以上
私はもう何度もコイツら
と意に反するセックスを
してしまっていた・

キツカケはコイツらに
校則違反を見られたこと

停学になり大学推薦を
失うことを恐れた私は
コイツらの要求を呑むしかなくて

なし崩し的に
セックスしてしまった

……

そして更にマズいことに
そのときの様子を隠し撮りされ
今度はそれをネタに脅される
ことになってしまった

こんなの誰かに
見られたら
全部終わりだよ

だろうな
で、どうする？

卒業までオレらに
付き合ったらこの
動画は消してやるぜ

っ、卑怯者おっ！

絶対消してよっ
絶対よっ！

ああ約束だ
破ったら警察でも
何でも言えはいさ

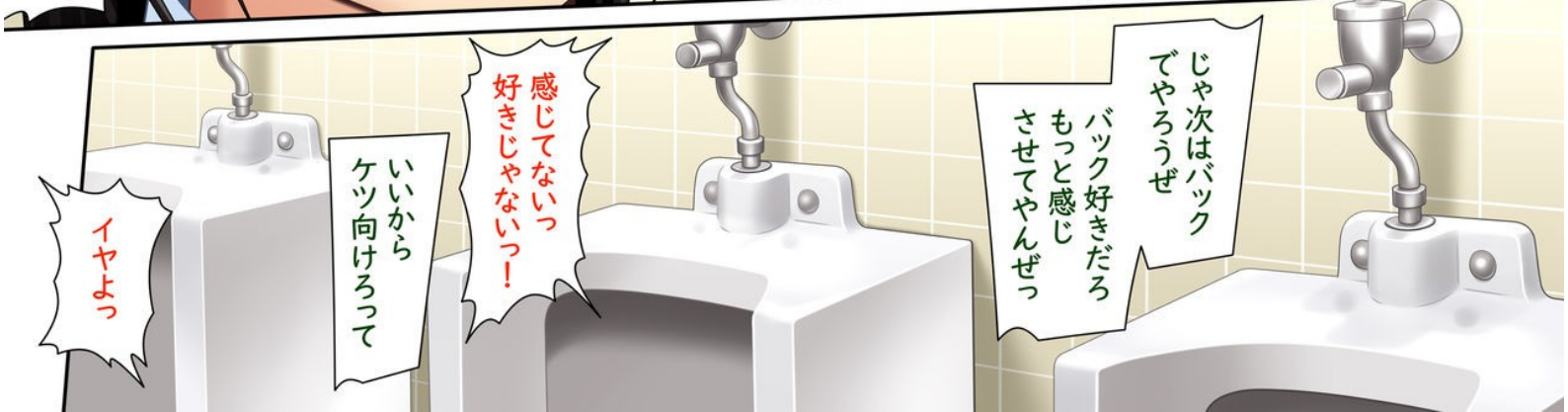
完全にハメられた、納得も信用もできないバカげた話
そんなことはわかってたけどこの弱味は大きすぎて：

——結局、卒業までの条件で関係が続けることを承知させられてしまった

そして今のこの状況：
コイツらは遠慮も容赦もなく
毎日のように私の身体を要求じてきて
私はやむ無くそれに従っている

もちろんこのことは交際している優見先輩には
言っていないし言えるわけもない





ハア、もう…

うわ
エッロ!

もうぐちょ
ぐちょじゃん!

ぐちょマン
もつと広げて
見せてくれよう

くく
くだらないこと
言っで
さっさと終わらせてっ

あの白北桃香が
学校の便所で
ケツ向けて
誘ってるなんて
サイコーすぎんだろっ

オマエのこと
ズリネタにしてる
男子共に自慢してえって!

くく

ついでにそのカッコで
「内尻君のデカチンで
思いつきリイかせてえー」
って言ってみてくれよう

そう急かすなって
男ならみんな妄想する
サイコーのシチュだぜ
楽しませてくれよ

絶対言わ
ないっ!

だよなw



ズブズブ

けどよー
こんだけやってて何で
まだ意地張んだよ
ホント強情だよなー

う
う

あたり前でしょ
彼氏がいるのに
こんなことっ

こんなエロい
身体してんだから
ホントはやりたくて
ウズウズしてんだろっ

もっと楽しまないと
損だぜーっ

エロく
ないっ
アンタとなんか
したくないわよっ！

こんなヤツとセックスして楽しめるわけない
脅して無理矢理やってるくせによく言う
セックスに興味がないとは言わないけど相手が重要で
気持ちの通じ合った相手以外とセックスしたいなんて
私は絶対思わない、こんなヤツ大嫌い！そう思うのに
身体が受け入れてしまうのがホント口惜しい

彼氏なんて
黙ってりやバレねえ
んじゃねえの

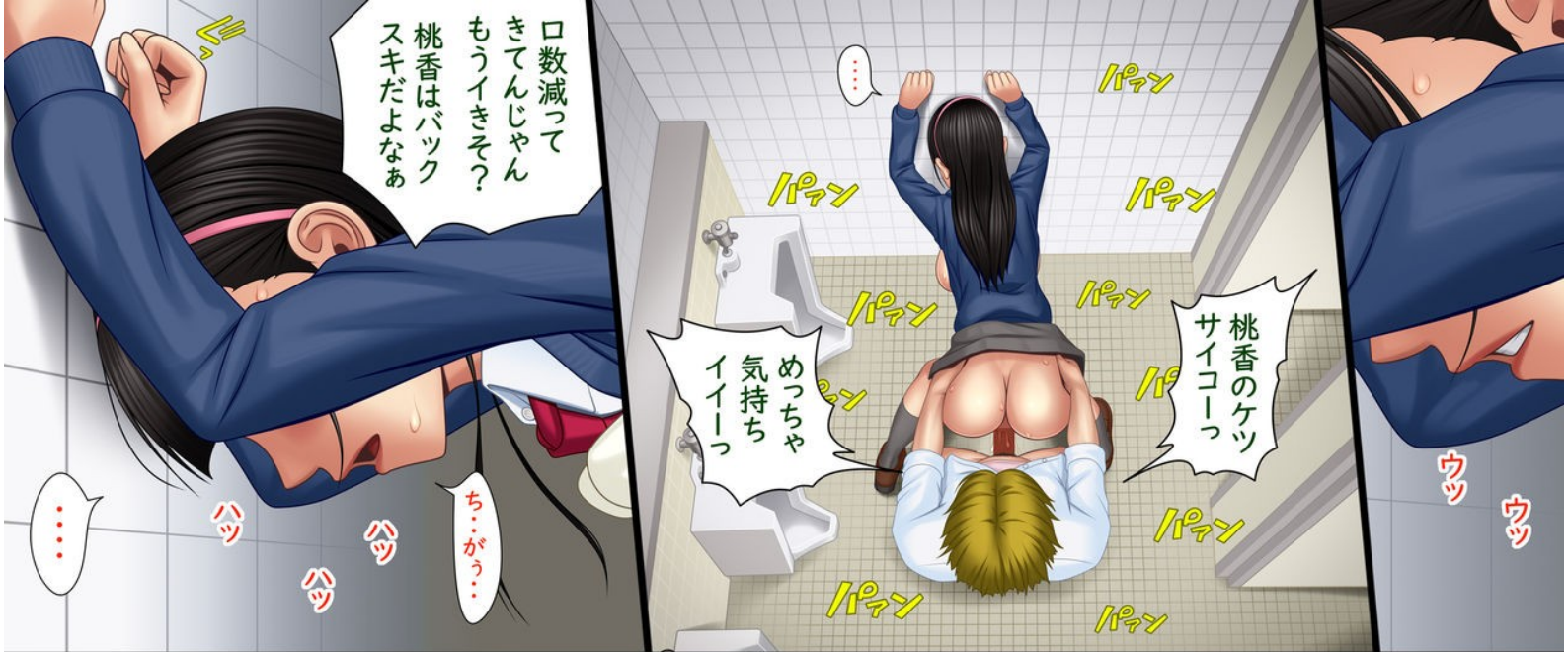
パン
パン
パン
パン

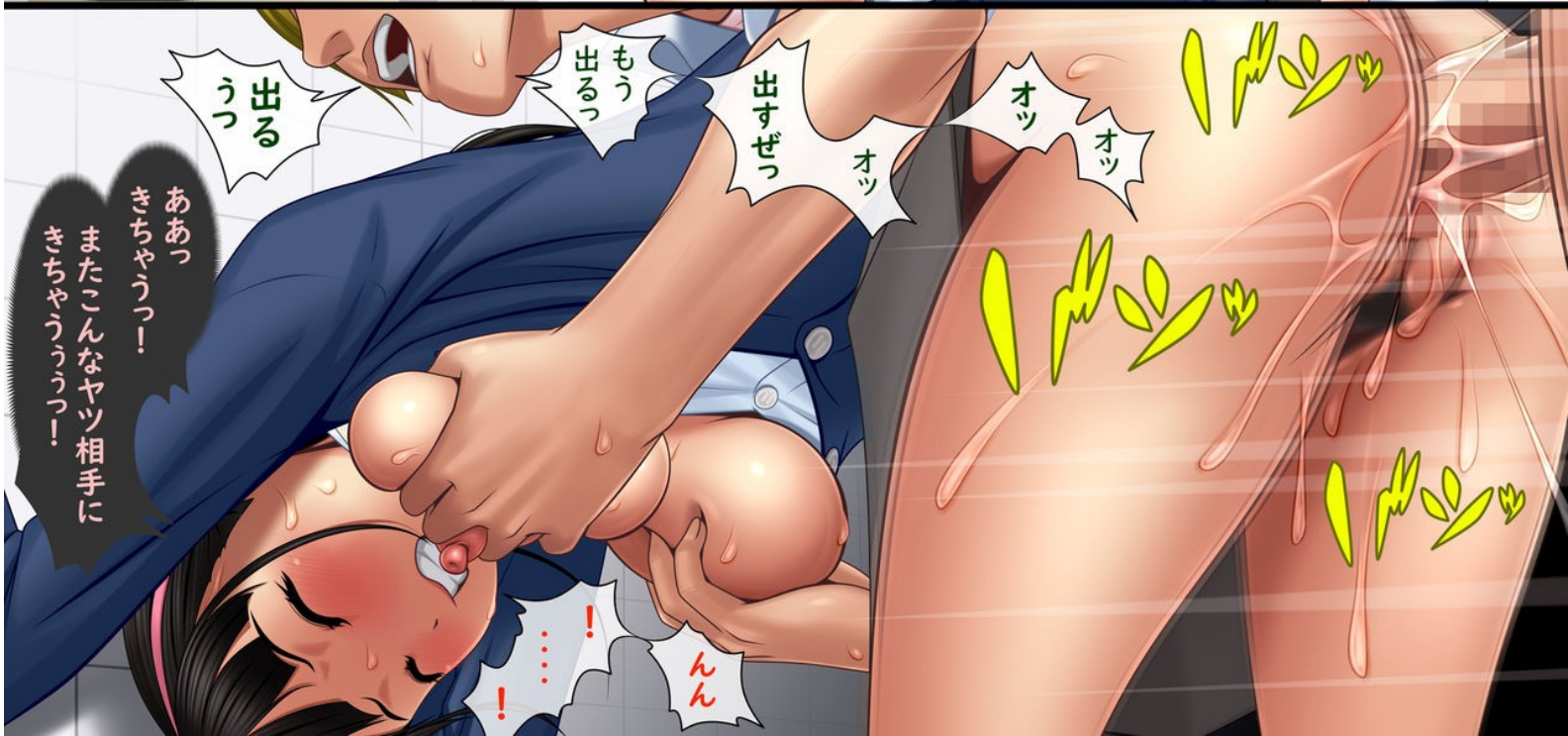
くう、
締まるう

気持ち
いい

ぎゅっ

ぎゅっ









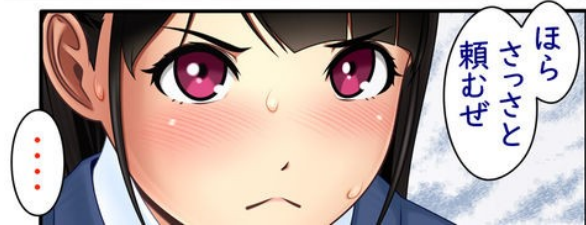
中に出されて
高まっちゃったとしても
そんなの生理現象みたいなもので
：しょうがないじゃないっ
相性がいいいなんて冗談じゃないっ
どこまでも自分勝手なヤツでイヤになるっ！

ハア
ハ？
バ
バカ言わないでっ
そんなわけ：ハアハア
ないでしょ！

イ、イって
なんかないし：
あと、桃香
つて呼ぶなっ

いったけど
いったなんて
絶対認めないっ

ハイハイW



いいぜその目っ
ゾクゾクくんぜ

チッ

白北に学校で
こんなことを
してもらえる
日が来るとは
思わなかったぜ

オマエはクラスで
人気あるからな

こりや確かに
いい気分だ

こっちは
サイアクの
気分よ・

嘲笑されながらこんなヤツの
ものを啜えなきゃならないなんて：
こんな口惜しい状況にしてしまった
ことが心底悔やまれる

これまでもセックス中にコイツらのものを
啜えさせられたことはあったけど
こんな命令的にさせられたのは初めてだった

ほらもっと動いてくれよ

啞えただけじゃ出せねえぜ

イヤ
よっ!

何でもそこまでしてやんなきゃならないのよっ

気を抜くとコイツらは
どんどん横暴になってくる
しょうがなく従ってるけど
何でも言うとおりにする
と思ったら大間違いだっ

偉そうに命令しないで

しょうがねえ
なニヤ

だったら自分でさせてもらうぜ

はっ!?

クッホッ

おぐお
っ!!!

喉!?
までっ

うおっ!
お

おっ!





お!

あ

おぶう



おほつ、
桃香エッロ

お前も静か
にやってねえ
じゃんか

外まで声
聞こえてんぜw

うぐお

ググッ...

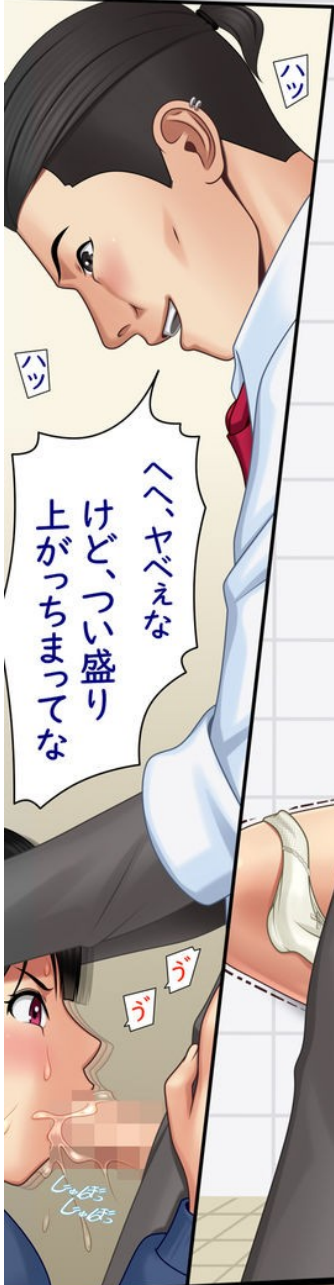
う

フリフリ
フリフリ

グッ

グッ

ぐはぁ



へへ、ヤベえな
けど、つい盛り
上がったままてな



だろっ

何たって桃香と
学校でだもんな
オレももつと
遊びたいぜ

ぐちゅう

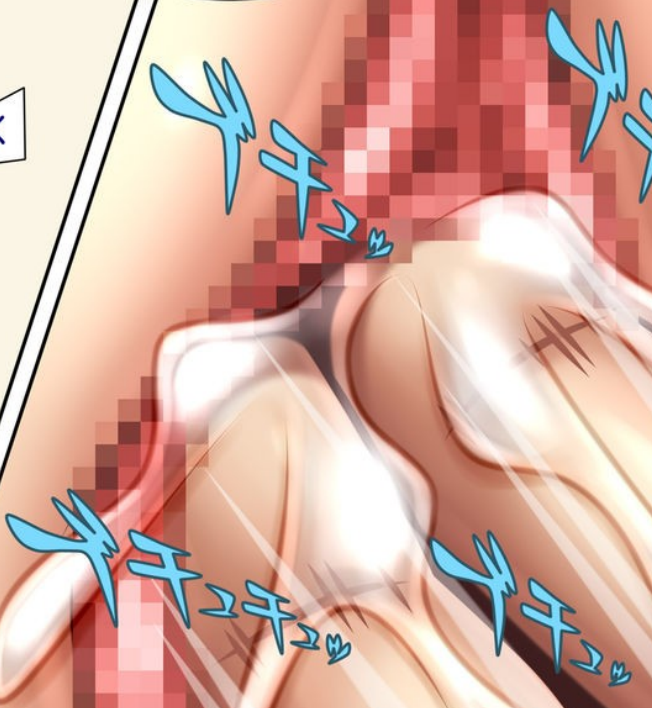
おいおい、
ちゃんと
見張ってるよ

へーキへーキ
誰も来ねえって

おぼっぼぶ
ぼぼぼおっ!

う
あ

う
あ!



そろそろ
出そうだけ:

ダメ!
ダメ!

ムリ!
ムリ!

やめてっ!
やめてえっ!

なあ、チンポ
啜えて感じてる?
感じちゃってる?

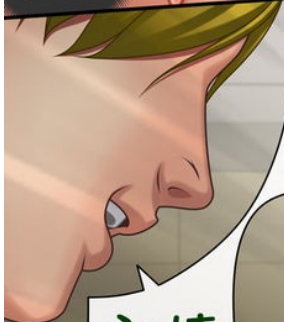
ひやは、マンコ
ヒクヒクしてんぜ

身体はオレらより
エロエロだよなっ!

あの桃香が
学校でこんなエロいこと
してんなんて彼氏も
ビックリなんじゃねっ
オレらをゲスとか
言ってもよお



もう
息が…っ



嬉
ションW

ひやはっ
出た出た
ww

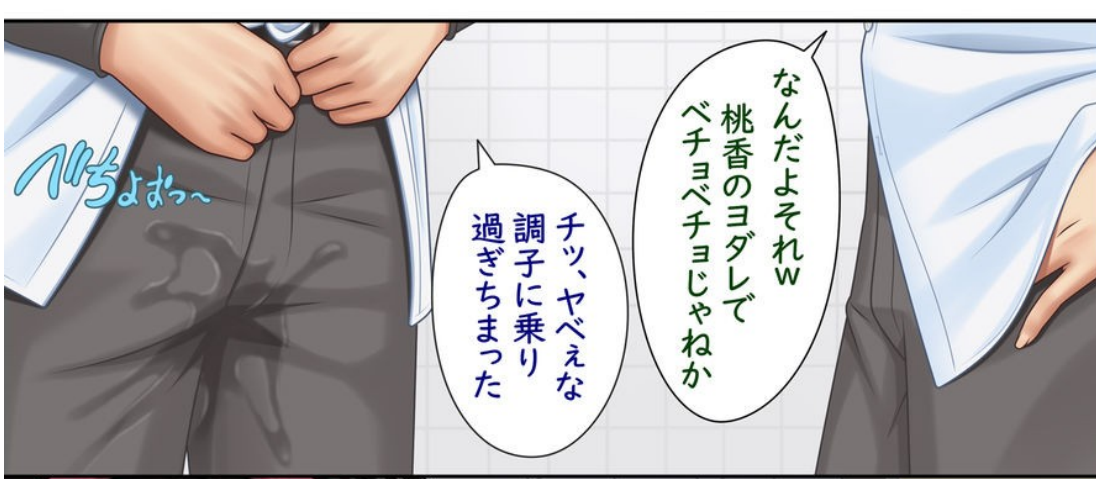
！

うおっう



うわっうわっ

どっどっ



…これで
いいの？

おほ、待つ
てました！

この変態っ！

それそれっ、やっぱ
そのカッコだと
エロさ倍増だっ

制服の次は
絶対それって
思ってたぜっ

変態！
変態！
変態……！

前日学校での後、コイツはまたんでもないことを言ってきた
私が逆らえないのをいいことに：本当にサイテーなヤツだ

ユニフォームをそういう目で見る輩が
居るのは知ってたけどホント許せないっ！

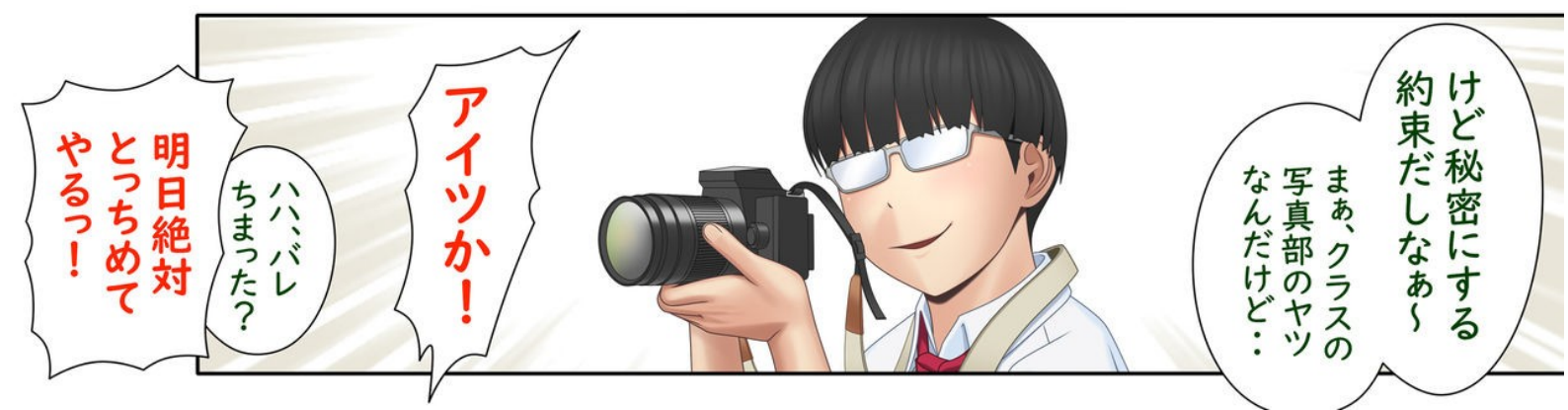
明日部屋来るとき部活のユニ
フォーム持参なっ！
まだあんだろ？

竿口のヤツは
バイトに行ったし
今日は二人きりだぜ
嬉しい？

別に嬉しく
なんてないわよ

でもバイトって
ここアイツの
部屋なんでしょ
勝手にしていいの？

いいの
いいの
ダチだし





そんな調子で
私とのことを
バラしたら許さないわよ

：それにしても
アンタやっぱり
口が軽いわね

それは大丈夫
だけだよ

写真のこと
俺が言っただけ
教えるなよ

買えなく
なっちゃう

買う
なっ！



そんなに怒ん
なくてもよお
おしろ我慢して
いいんじゃない
へへ
ぶりぶりっ

このケツの写真で
学校中の男共が
又いてんだぜ

サイアク
じゃないっ！



そんなこた
ねえだろ

野郎共が
又いてる
とこ想像し
てみるって

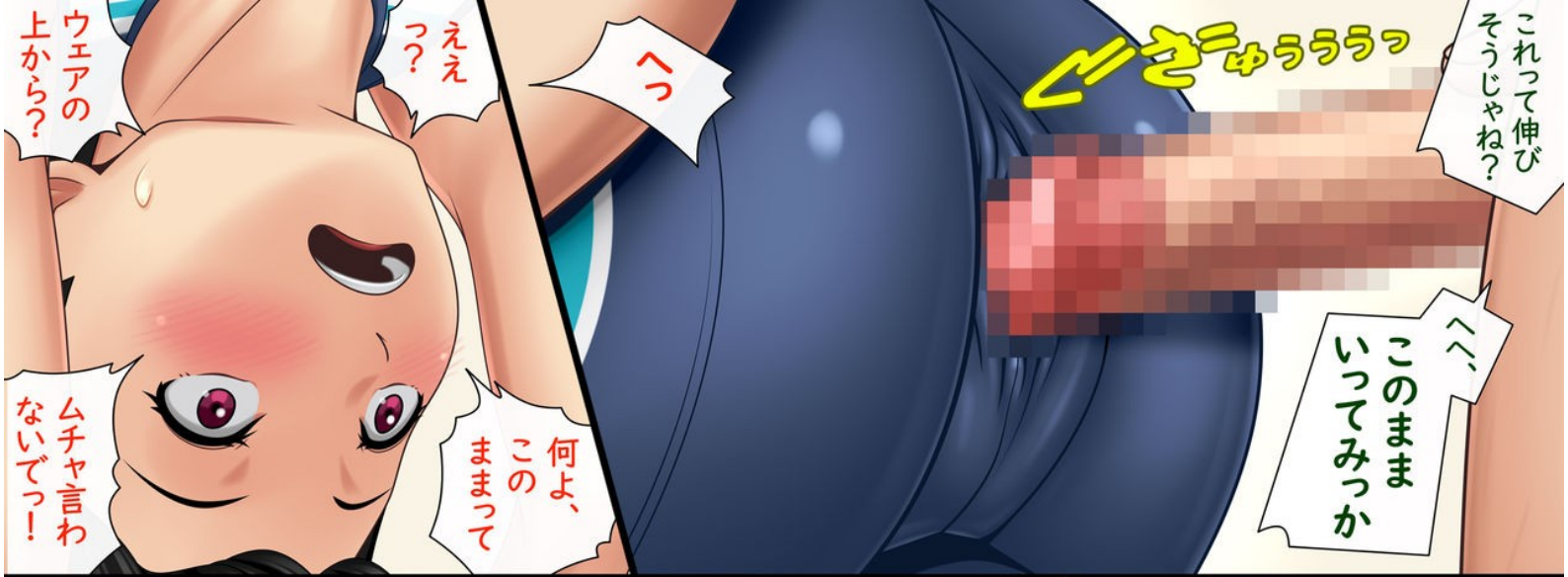
くあ
興奮す
るよなっ

ぐり
ぐり
ぐり

もう堪ん
ねえって

ずり

へんな目で
言わないで



これって伸び
そうじゃね?

ぐぎゅうううっ

へへ、
このまま
いつてみっか

へっ

ええ
っ?

何よ、
この
ままって

ウェアの
上から?

ムチャ言わ
ないでっ!

オレの硬さを
ナメんじゃ
ねえぜえー

ぬぬうう...

ババカじゃ
ないのっ
ムリムリ
ムリだって
!!!!

んんっ!!

んあ...あ...!?

ウツそ!?
は、入ってくる

どうよっ？

どうよっ？

入ってんぜっ！

オレの硬くて
サイコーじゃねっ！

ん
あ
!?

ウェア越しに
挿入られ
てる!!

ああっ！

ママジグ

こ、これヤバいっ
布地が擦れて
普通より刺激がっ

ガクガク

ガクガク

!

!

くは、こりや
たまんねえっ

ぐり

ぐり

ぐり

スポーツしてる姿をエロい目で見るなんて
部活当時から絶対許せないと思ってた

くたばれっ!

くたばれっ!

内尻のヤツはどこまでもゲスで私の神経を逆撫でしてくる!
ユニフォームでと言われたときから今日は絶対に感じないようにしようと
固く心に決めていた私だった...なのに...こんなの想定外で.....

早くもヤバいっ!

..ああ

こんな屈辱的な
ことされて感じたり
したくないのにっ

う

うう



んあっ

ドサッ

ハッ

ハッ

あっ

ああっ

キツっ

いっあっあっ

だ・めえ
っ・っ・っ

布地が擦れて気持ちイイ
よりむしろイタいっ
なのに強い刺激で強引に
高められてしまう！

ああっ
もうダメっ
くるっ！

うっ

うっ！



これ
スゲえてっ！
もう出そう
なんだけどう
いって
いいっ？
なっ

なっ？



だめえっ
いくうっ！

くはっ

うはっ
うはっ
うはっ

うはっ
うはっ
うはっ

うはっ
うはっ
うはっ

いいひいい
いいひいい
いいひいい
！！

うはっ
うはっ
うはっ



思った以上に激しくイってしまった。
神経を直接撫でられた
ような鋭い快感が背筋を走り
まだ身体の震えが止まらない！

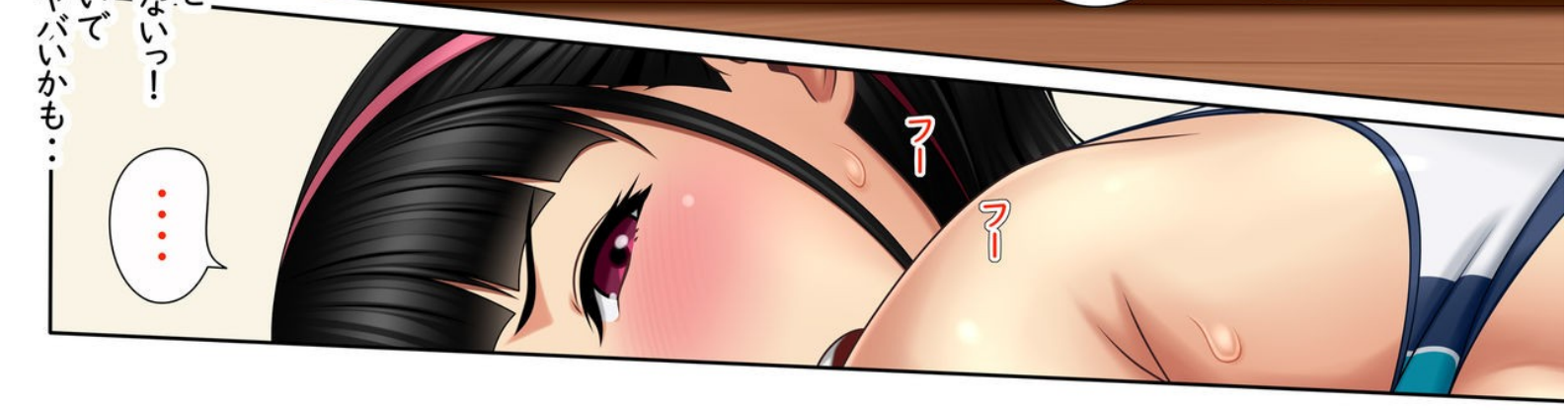


くは：気持ち
よかったけど
さすがにチンポが
ヒリヒリすんぜ

次はもう
生で挿入れ
させてくれよ



昨日の学校トイレや今回のユニフォーム
嫌だと思う状況であればあるほど
強い快感になつてゐる：認めたくないけど
これって私の性質？：いや、そんなハズないっ！
ないけど：コイツはまだ続ける気みたいで
こんなことを繰り返してたらホントにヤバいかも…



その後も：

おっ、これって
表彰された
とき？
スゲー
じゃんっ

ひよおー
表彰まんこ
サイコーっ

なんで今
これを見せなきゃ
なんないのよっ！

いいじゃんか
その方が
興奮するんだ

変態一

ド変態一

シねっ
変態っ！

こんなゲスでサイテーでド変態で
どうしようもないくらい無神経な
彼氏でも何でもないクラスメイトに
変態趣味なセックスを強要され：



結局膣内に射精され
私はまたイってしまった

一度目はともかく
連続でイってしまうと
もう気持ち良くて
溜まらなくなり身体が
言うことを聞かないばかりか
思考も鈍ってしまう

あ

あ

♡

ひゅん

ひゅん

ぐん

ひゅん

ひゅん

3/3333

彼氏以外の男に射精される
なんて嫌悪でしかないのに
身体は気持ちよくて堪らない
こんな日をここ数週間毎日の
ように続けてしまっていた

ダメだと強く思えば思うほど
快感も強くなっていて
これでは本当にどうしようもない…

そんな日々が続く中
学校では：

当初はアイツらと顔を合わせる
ことすら気マズくてどうなる
ことかとハラハラしていたが
意外なことにアイツらが
チヨツカイを出してくることは
一切なくなった、これはまあ
その必要がなくなったからだろう

今の状況を友人達は
私がビシツと言ったことで
その結果アイツらが大人しくなった
と勘違いしているようだけど：



本当はビシツと言うどころか大失敗して
毎日のようにアイツらに身体を弄ばれているなんて：
そんなこと口が裂けても言えるわけないっ

うぼおう！

アイツらがもし約束を破って学校中に知れ渡るようなことになれば
私も腹を括って訴えてやる覚悟だけどそこまで事態が悪化してない
この状況では秘密を守ってズルズルと関係が続けるしかない：



それでも先輩と会うときにはどうしても罪悪感が伴う
やってしまったことは取り返しがつかないとしても
こんな状況を続けてしまってるのはマジでマズすぎる

この前も合格通知があったことを直接伝えたとき

本当は抱き合って飲み合いたかった
でも先輩を前にするとどうしても
後ろめたい気持ちになっちゃって：

安心して
笑顔がツライ：

結局そこまでは出来なかった

アイツらと関係を持ってから
先輩には抱かれていない：

いくら同じ大学に行く為だったとは言え
先輩意外の男とセックスするのはヤバイ
でもアイツらとの約束を反故にして
関係をバラされたりしたらもつとヤバイ：
悪くすれば学校に行けなくなるし
そうなれば先輩との関係も終わる：
ならどうすればいい…？

答えが出せないまま
翌日もまたアイツらとセックスしていた：

マズいとわかっていながらも
そんなことを続けるうちついに
私の理性を打ち砕くような
ことが起こってしまった

それは半日授業で昼過ぎから
呼び出された日、服を脱いだ途端に
手枷を付けられたことから始まった

ちよつと
何よこれっ！

どういう
ことっ！

何で
こんなこと
すんのよっ!?

これまでそんなこと無かった
から油断していた上に
いきなり力ずくでこられて
抗うことができなかった…



オメエ絶てえ
嫌がるだろうし
暴れねえように
させてもらったぜ

今日は時間もあるし
ちよつと変わったこと
しようと思っただけ





ほら暴れ
んなって

やっぱ拘束
しといて
正解だったな

パタ
パタ

ズググ

んんっ

ホントに
やめてっ！
アンタら
セックスし過ぎて
頭オカシクなっ
てんじゃないのっ

んんん
んんん
んんん

キモいっ
キモいってええっ
んあああああ
あああああ
あああああ

そんなわ...！

いひいひいっ!?

ズググ

本当は期待しちやつ
てんじゃねえの

ケツしか舐めてねえのに
まん汁ダラダラ出てきてんぜえ

嫌がってるわりには
いい反応してんじゃん

ぬちゅあ〜

ズググ

わ

わ

わ

何その
オモシレえ
反応w

どうよ？
ケツの穴
気持ちイイ？

急に肛門に指を入れて感じてしたのは
もちろん快感なんかじゃなくて強烈な便：

ヤバっ！
出、出：
も、漏れ

マズいっ！
これはマズ
過ぎるうっ！

グリ
グリ
ググ

バカ
バカ
バカ
バカ

ヤバいっ
ヤバいヤバい
ヤバいヤバい
ヤバいって！

トイレトイレ
トイレトイレ
トイレトイレ
トイレトイレ
マジヤバいっ！

このままじゃ
ベッドが
ヒドいこと
になるわよっ！

はあ？

何だよそれ
漏らすって
ことか？

チツ、そりゃ
マズいな

トイレまで抱えて
ってやるから
それまでガマンしろ

わわ！
今抜いちゃ
ダメッ！

絶対
ダメッ！

：しょうがねえ
指入れたまま
付いて来てくれ

ええっ！

えーっ
マジかよw

そ、それより
手枷をっ

外しても指
抜けねえだろ
連れてってやつから
大人しくしろ

そんなっ
イヤッ！

ぞゅううう

いやああああ
あああああ！

それから
15分経って

すっかり大人しく
なっちゃったな

○ぶち撒けて
覚悟も決まった
てとこかw

いや〜桃香の
脱○ショーが
見えるなんて
思ってたぜw

でもこれで
ケツ穴もほぐれ
たんじゃね

準備オーケーだよな？

ベッド上の大惨事
こそ免れたけど
私の人としての
尊厳はもうズタボロ：

クラスメイトに抱えられたまま
トイレで：さらにシャワーで肛門洗われて

こんな女子ありえないでしょ
絶対に忘れられない
黒歴史ができてしまった：

そんな
こんなで
ついには：

じゃあ
始めっか

いくぜ〜

うっ！



ん
ん
ん
ん
っ
! : : : ! : : : ! : : : !

お尻にまで挿入
されてしまった

肛門に入ってくる異物は
実際より太く感じて
初めは声も出せない
ような状態だったけど：

桃香の
アナル処女
いただきいっ

堪んねえ
締め付けたぜ
こりやつ！

！
何でここまでして
変なところに
入れたがるのよう
コイツらホント
訳わかんないっ！

出し入れを繰り返されるうち
徐々に・普通のセックスとは
異質な快感を感じだしてしまった

んっんっんっ
おっおっんっ
おっおっんっ

るるるるる

お尻に挿入されて気持ちよくなるなんてあり得ないと思ってたし
もう好きにすればいいじゃないといった投げやりな気持ちにもなっていたけど
肛門に異物を出し入れされる行為は想像を超えて衝撃的なものだった！

メツチャ
気持ちイイし
桃香の反応
オモシレえー！

竿口も挿入れて
みろよつ、まんことは
全然違う感じだぜっ

排泄時にとくに快感を覚えたことはなかったけど
そういう快感が確かにあることを初めて知った
とくに抜くときに強いその快感は本能的なもののように
身動きできないまま連続で出し入れされると
動物的な呻きのような声が自然と出てしまった！

んおおおっ

おっ？

おっ

おうっ

お！



それからコイツらは
二人で繰り返し
肛門に挿入してきた



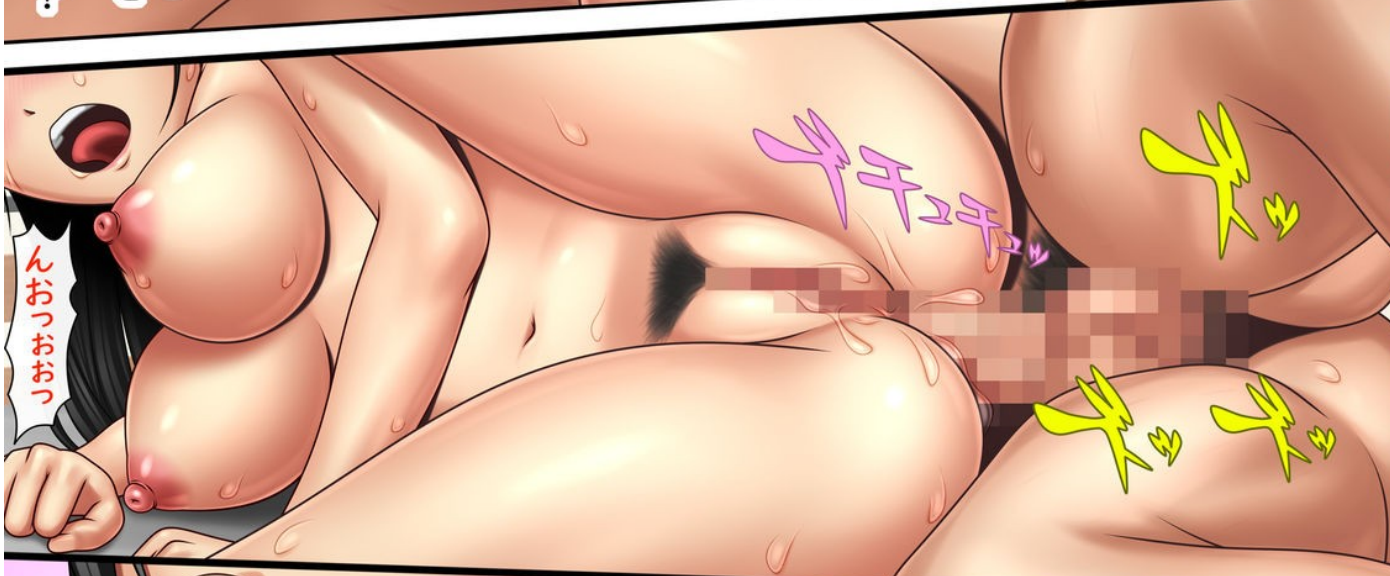
う
おっ

へへ、エグいな
締めりがパねえ

だろっ！
堪んねえ
よなっ

私の場合セックスの
快感はコップに溜まる
水みたいな感覚だけ
お尻の場合は違って
水風船のような感じ？

快感はどんどん蓄積していて
身体はどうしようもなく高まるのに
不思議とそれだけでは快感が
溢れ出す（絶頂する）ことはなかった…



気持ちイイーっ
クセになりそう
だぜこれっ

おっ

おっ

おっ

こりや
白北も相当
キてんなあ

白北ヨダレ
垂らしてん
じゃねえかw

膨らみ切った水風船状態で
ひたすら悶え続けるしかなくて…

こんな感覚は初めてだったけど
この状態が長く続くのは
正直言ってツラかった、それで
私は堪らなくなってしまう…

もうお尻は
やめて…

フー

フー

フー

お願い普通に
セックスして…

…と漏らしてしまった

それって
マンコにも欲し
いってことだよな

ニヤ

更なる地獄（天国？）に
踏み込むことになる
とは知らずに…



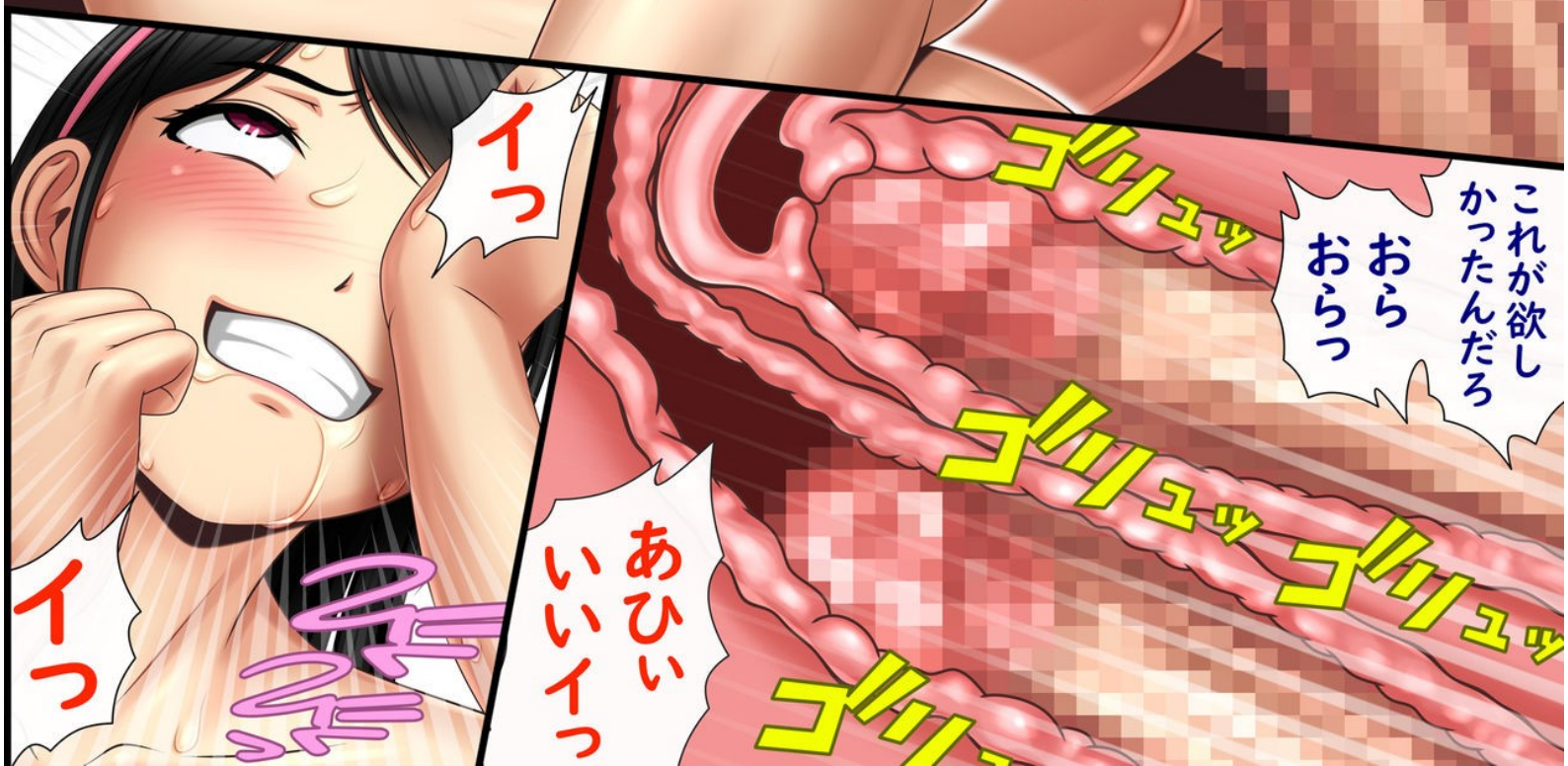


肛門に挿入されたまま
膣にまで挿入されてしまった！
こんな変態行為あり得ない！
思ったにもかかわらず…

あ
あ
っ!!

あ

ウハッ
ホントに入っ
てんじゃんスゲー



イッ

これが欲し
かったんだろ
おら
おら
おらっ

あひい
いいイッ

イッ

ゴリッ
ゴリッ
ゴリッ

ゴリッ
ゴリッ
ゴリッ
ゴリッ
ゴリッ

イッ

くううう
うううう
うーっ
!!!

ウハッ

オオッ

桃香メツチャ
イってんじゃん!

スゲえっ
初めてイクって
言ったんじゃね?

私はその異常なセックスで激イキしてしまった!
蓄積されまくった快感が一気に暴発して
もう頭の中は波に引き込まれるように真っ白に!

これまで決して口にしないようにしていた
「イク」と言う言葉も無意識のうちにでてしまい
これもキツカケとなってもう歯止めが効かなくなった

いひいひいっ
ダメッダメッ
同時に挿入れ
ないでえっ!!

あひいっ
ひいっ

やめてえっ!!
おかしくなっちゃううっ!!

それからの
ことはもう:
思い返したく
もないけど

完全にタガが
外れた状態に
陥ってしまった
いた...と思う

んおっおっ
おほおっ







あひいいうっ
イクーうっ
♡♡♡

A blue-tinted comic book panel showing a modern building at night. A single window is brightly lit, casting a glow. The building has a grid-like facade. A speech bubble tail is visible in the bottom right corner.

桃香がここまで
やらせてくれる
なんてサイコー

トクッ



トク

自分の女相手じゃ
こんなことまで
出来ねえからな
白北には
感謝しねえとなW

私は意識が遠のくほどの快感の連続に我を失い、本気で気持ちよくなってしまうていた：

これが昨日の出来事で――

—そして翌日（休日）

あ、体調と言っても

病気とかじゃないんで心配しないでください：（汗）

私は優見先輩との約束をドタキャンしてしまった：

まだ前日の淫らな快感の感覚が身体に残っていて朝から悶々としてしまっている
彼氏じゃない男相手に本気で感じたことを思い返してしまいとてもじゃないけど先輩に合わせる顔がない：

膣・口・肛門：
挿入られるところ
すべて挿入されて
射精（だ）された

アイツらいたい
どんだけ私に射精すれば
気が済むのよっ

それほど昨日の淫ら過ぎる行為は衝撃だった、本気でイくことがあんなに気持ちイイなんて：
我を忘れるほどの快感、アイツらがセックスばかりしたがるワケがちよっとわかった気がしてしまう

だからといってあんなヤツらには絶対屈しない！

その気持ちは今も変わらないのに
身体に一晚経っても忘れられない快感が残るのは
気持ちと身体が一致してないということ？

（アイツらが約束を守ったとして）まだ卒業までは間がある

事態を悪化させない為には割り切ってやり過ぎすしかないのに
快感で自分が保てなくなるなんてマジでヤバすぎだっと思う：

いくら気持ちよくても快感と彼氏は一致していないとダメで
強要される性行為で気持ちよくなりたくないかない：

：ないのに、こんな望まない快感がまだ【続く】？

ぎゅん

白北桃香

しろ きた とう か

昨年まで陸上部で部活に打ち込んでいたがケガで早期引退してからは勉学に励んでいる
負けん気で強気な性格だが心を許せる相手には素直になれる(軽いツンデレ)
容姿の良さでよくモテるがガードは固かった
部活を辞めた後に知り会った優見先輩と付き合いようになりそれからは彼一筋
「やるときはやる」がモットー

